



## じんけんさんぽう ぞん 人権三法をご存じですか？

2016年、「人権三法」とよばれる差別を解消するための3つの法律が施行されました。その3つの法律とは、「ヘイトスピーチ解消法」「障害者差別解消法」「部落差別解消推進法」です。今年2026年は人権三法が施行されてから10年となります。

○「ヘイトスピーチ解消法」とは、特定の民族や国籍の人々への不当な差別的言動（ヘイトスピーチ）は許されないと宣言し、その解消を目的としています。

○「障害者差別解消法」とは、障害を理由とする「不当な差別的取扱い」や「合理的配慮の不提供」を禁止しています。

○「部落差別解消推進法」とは、歴史的背景から存在する部落差別（同和問題）は許されないと認識のもと、その解消を推進し、部落差別のない社会の実現を目指します。

## こうえんかい かいさい 講演会を開催しました

1月10日に、講演会を開催しました。「部落問題を通して考える日常の中の差別」をテーマに、BURAKU HERITAGEの上川多実さんに講演いただきました。参加された方からは、「マジョリティ側の特権は、ついつい見逃しがちである。あたり前のこともあたり前でないことにも気づくことができた」「社会を変える自分として、どう生きたいかを



考えさせられた」などの感想がありました。「差別は社会構造の問題であること」「人権はどこかの誰かの話ではなく、一人一人にあるもの」などについて、学び、考える機会になりました。

# しけんみんぜい しんこく はじ 市県民税の申告が始まります

しけんみんぜい しんこくきげん がつ にち げつ しんこくかいじょう こんざつかんわ つぎ  
市県民税の申告期限は3月16日（月）です。申告会場での混雑緩和のため、次の点にご協力ください。

① 令和8年度分から市県民税も電子での申告が可能となりました。電子申告もしくは市民税・県民税申告書・必要書類を郵送などで市役所（市民税課）へ提出してください。電子申告の方法は右の二次元コードよりご確認ください。



② 所得税の確定申告書は税務署へ提出してください。

## かんざきちく しんこくかいじょう 神前地区の申告会場

① 寺方児童集会所 ホール

にちじ がつ にち もく  
日時：2月26日（木） 9：30～14：30

② 神前地区市民センター

にちじ がつ にち か  
日時：2月17日（火） 9：30～14：30



上記の会場では、市県民税の申告と所得税の簡単な確定申告を受け付けます。申告会場の混雑緩和のため、申告時の医療費控除の明細書や収支内訳書の作成はできません。事前に作成して申告会場へお越しください。

【上記の申告会場ではお受けできない確定申告例】

営業・農業・不動産所得があり収支内訳書ができていない、土地や株を売った、令和7年中に居住し始めた分の住宅借入金等特別控除（住宅ローン控除）を申告する、青色申告・損失申告をする、繰越損失の申告をする、過年度（令和6年分以前）の申告をする など

上記のような場合は、四日市税務署が、ユマニテックプラザ3階（鵜の森1丁目4-28）において、2月16日（月）～3月16日（月）の平日9：00～17：00に開設する確定申告会場をご利用ください。なお、確定申告会場への入場には「入場整理券」が必要です。

確定申告に関するお問い合わせは四日市税務署（TEL 352-3141）へ、市県民税に関するお問い合わせは四日市市役所の市民税課（TEL 354-8132）へお願いします。